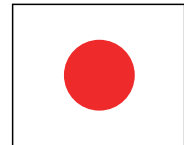


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲揚しましょう。

皇紀2679年

— 水無月 —

6月号

発行所
生長の家両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



神の導きを得る言葉

生長の家創始者 谷口 雅春

吾れはいま吾れを通じてはたらき給う内なる神の力に信頼する。吾れは内なる叡智に信頼する。此の叡智は吾がものではない。しかし又吾れを離れたる智慧でもない。吾れに宿り給う神である。吾が靈魂は神と一体となつて照り輝いている。吾れは光輝く自分である。吾れはなお現在意識に於ては知らないが、既に全智なる者は吾が内に宿つていたのである。吾れ、此の問題に関して切に導かれんことを希う。吾れは導かれる。吾れは如何なる方法をとるが最善であるかを教えられるのである。吾れはいま宇宙の叡智の創造的活動が、此の問題に対して活動しつつあることを自覚する。吾が求むる如くならしめ給うたことを感謝いたします。神は適當の時期を選んで、吾れが何を為すが最も善きかを必ず知らして下さるのである。吾れは吾が内に宿りて常に吾れを導きたまう神に対して感謝いたします。

(『日々読誦三十章経』二十八日の経言)

“倫理的な生活”を広めよう

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

今年のゴールデンウィーク、前例のない10連休ということもあり、やはり観光地はどこも人であふれて大変だったようですね。テレビのニュースは各地名所の混雑の様子や、名店前の長蛇の行列を映していました。なかには空席待ちのため夜十時を過ぎてようやく夕食にありつくことができた家族もあつて、子供が眠そうに食事をしていた姿がとてもかわいそうでした。私は近くの温泉のある観光地に行ってみました。町が人や車で想像以上にごった返していて本当に驚きました。そして同時に、以前、自分が宿泊客として利用した旅館のことを思い出してなんとも言えない気持ちになりました。

それは昨年の冬、露天風呂と美味しいカニ料理が自慢の旅館に泊まったときのことでした。その夕食がお皿に山と積まれた茹でガニにはじまり、カニの天ぷら、カニすき、カニ雑炊などなど、とても食べきれない種類と量で困惑したことを思い出したのです。旅館の食事の量が多いことは今あちらこちらで問題視されているようですが、同じようにして

連休中の多くの旅館でお客様に食べきれないほど沢山の料理が提供され、そこから多くの食料が残飯となつて廃棄されるであろうことを考えると、これには本当に胸が痛みました。「お金さえ払えば、どれだけ贅沢に料理を並べようが私の勝手」でいいはずがありません。いったいあのような過剰な食事を本当に喜んでいるお客様などいるのでしょうか。

ある日の新聞のコラムに「子供を不幸にする一番確実な方法」が紹介されていて、ドキッとしました。何だと思いませんか。フランスの思想家ルソーは次のように説いているそうです。

「それはいつでもなんでも手に入れられるようにしてやることだ」(参照…東京新聞二〇一九年五月五日電子版)

なるほどと納得できる話ではないでしょうか。先の旅館のような過剰な食事の提供を子供が当たり前と思うようになることは本当に恐ろしいことだと思えます。お金さえ出せばなんでも手に入る便利な世の中で「足るを知らない」で感謝を忘れ、飢餓で苦しむ人々や破壊されつつある自然を無視して育っていったら、この子供はもちろん、世界も不幸になつ

ていくのは明らかです。実際、資源の浪費による環境破壊と地球温暖化による自然災害により、私たちの地球世界はいま危機的な状況にあるのです。生長の家白鳩会総裁・谷口純子先生は最新刊『46億年のいのち』のなかで、次のようにお説きくださっています。

一人一人の日常は、限られた狭いものである。その中で私たちは、自分中心に物事を考えがちだが、その習慣を少し方向転換させ、他の人や生物、自然にも思いをさせて、小さな選択、ささやかな行いをするにより、自分も生かされ、多くの人や生物、自然環境へ良い影響を及ぼすことができるだろう。地球という広大な世界で、人間は空気や水、太陽、他の動植物などあらゆるものに生かされて生きている。心静かにそのことを考えると、感謝の思いが湧いてくるのではないだろうか。感謝の生活にこそ、健康で明るく楽しい日常の源泉がある。(同書一〇二頁)

自分や人間中心ではなく「神・自然・人間は本来一体」の信仰に基づき、具体的に日常生活における小さな選択・行いを、常に神の導きを得て神意に合致させたものにするのが重要なことです。この感謝に満ちた健康で明るく楽しい日常の「倫理的な生活」が必要とされているのです。六月にはこの素晴らしい生長の家の生活法を紹介する大きなイベントが二つあります。九日(日)開催の白鳩会による「生長の家白鳩会女性のための講演会」と二十三日(日)開催の「相愛会教区大会」です。どうぞ多くの方をお誘いあわせてご参加ください。

令和元年6月

相愛会教区大会開催のお知らせ

テーマ 『神・自然・人間は本来一体』の信仰をライフスタイルに表現し、“新しい文明”の基礎を築こう！

・日時：令和元年6月23日(日)
13:00~15:30

・講師：伊藤 夏樹 教化部長

・会場：生長の家両丹道場

・テキスト：『宗教はなぜ都会を離れるか』『新版 生活の智慧 365章』、サブテキスト『46億年のいのち』

・主な内容：第1、2講話、活動紹介等。是非多くの男性の参加を推進しましょう。



合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、組織の血液としての使命に邁進して頂いていますことを心より感謝申し上げます。

今年11月3日に実施されます地方講師試験(新規・教務)の勉強会を始めさせて頂きます。受験者をはじめ、改めて勉強してみたい、また将来に向けて勉強したいと思われる方は、是非、教化部長・伊藤夏樹先生のご指導による勉強会にご参加頂き学んで頂きたいと存じます。

テキストの準備がありますので希望者は6月10日迄に講師会長西村まで連絡をお願い致します。 再拝

※本年度の講師会費が未納の方は納入頂きますようよろしくお願い申し上げます。

～青年会だより～

教区青年会事務局長 渡利あすか

「今年も全国大会参加！」

去る4月29日に、青年会全国大会に参加してまいりました。今年はCO2排出量の削減も考え、主な移動手段に電車を選択。青年4名+付添いの保護者1名で参加してまいりました。

谷口雅宣先生と谷口純子先生が青年のためにお話くださる貴重な機会、みな真剣に受講致しました。全国の青年が地球のために取り組んでいる様々なチャレンジもお聞きし、使い捨てる消費生活からまったく真逆の生き方に転換していくことの大切さや、身の回りにあるすべてのものに感謝する——生長の家らしい生き方とはどういうことかを改めて確認することができた素晴らしい時間でした。

全国大会にご参加くださった皆様、そしてそれを支えてくださったご家族の皆様心から感謝申し上げます。貴重な機会をありがとうございました。

6月度地方講師・光実一日研修会のご案内

- ・日 時：令和元年6月26日(水) 9時55分～15時
- ・テキスト：『ムスビの概念の普遍性を学ぶ』、『憲法を知ろう』誌友会のためのブックレットシリーズ3・4・5・6、『46億年のいのち』、機関誌『生長の家』6月号、普及誌3誌No112、『凡庸の唄』、聖歌集

～自然の恵みに目を向けられる時、人の心は救われる～

4月度地方講師・光実一日研修会の報告

2019年度地方講師会 総会
懇親会 大拝殿

<第1回受験勉強会>

- ・日 時：6月15日(土) 10時～15時
- ・場 所：生長の家両丹道場
- ・テキスト：準備させて頂きます (お弁当、お茶をご持参ください)



相愛会・栄える会合同全国幹部研鑽会に参加

去る4月28日(日)午前10:00～午後3:30、相愛会・栄える会合同全国幹部研鑽会が開催され、京都第二教区からは、13名が参加し、総裁・谷口雅宣先生、白鳩会総裁・谷口純子先生より“新しい文明”のために、倫理的な生き方の御指導を頂くと共に、相愛会員の実際の活動を傾聴して参りました。

参加者からは「神様の智慧に導かれ農業に転職した体験談に感動しました」、「信仰によって不登校の子供が、立派に社会人として活躍していることに信仰は素晴らしいと改めて思いました」などの喜びの声が寄せられました。この度、ご参加下さいました方々に改めて感謝申し上げます。



生命学園便り

園長 大槻 紀子

二〇一九年度両丹道場生命学園入園式は、平成最後の月、四月二十日(日)、九名の神の子さん達が参加して下さい、喜び一杯の中で開かせて頂きました。

「君が代」斉唱で始まり、「大調和の神示」「神さまと自然とともにある祈り」拝読の後、近藤保男相愛会連合会長より来賓の祝辞を頂き、続いて教化部長・伊藤夏樹先生の「私は神の子」と題しての講話を拝聴しました。「人間・神の子」の深い真理を子供達に分かり易く説いて下さり、一人一人が尊い使命を持って生かされていることへの感謝の念が湧いて参りました。講話の後、素敵な紙の小箱のクラフト作りを楽しみ、階下の菜園へ移動して、ミニトマトとピーマンの苗植えの準備をしました。限られた時間の中で、盛沢山の内容となり、記念植樹は当日の運営委員会終了後に大江青美講師に指導を仰ぎながらスタッフ一同力を合わせて苗植えを完了しました。昼食は、大江講師、糸井芙佐子講師、東純子職員にお世話になり、かやくご飯、コロッケ、サラダ、お吸物、ヨーグルトデザート、果物など豪華な美味しい食事を感謝して頂きました。

令和元年を迎えて、常に神の子さん達の実相を拝ませて頂きながら、月に一度の開園日を益々充実して参りたいと存じます。

感謝再拝



苗植え



クラフト製作

『住吉神社建立五十九年大祭』

・とき 六月十八日(火) 午前十時

大聖師谷口雅春先生の御指示で建立された両丹道場の住吉神社は生長の家で由緒ある神社であります。

「神の癒やしが天降り給う」

いよいよ住吉神社と、両丹道場の新築が出来上がり捧堂式もすまみして、初めて谷口雅春先生が御講習会の折りにお越し下さいました。その時先生は、門柱の外で車を降りられ、御徒歩にて、まず住吉神社にお参り下さいました。それから新道場の二階にお上がりになつて、一時間もの長い神想観をして頂きました。それは「住吉大神の聖霊両丹道場に天降り給う」という神癒の祈りを厳かにして下さいましたのです。

(長村婦美子先生著『み教えにいのち捧げて』一五一頁より)

住吉神社大祭に、信徒の皆さままで参拝して世界平和と教区発展を祈りましょう。

◎当日はお弁当を準備しております。



生長の家白鳩会 女性のための講演会

テーマ：毎日を明るくゆたかに！

本部講師補
久保田 道代



本部講師／教化部長
伊藤 夏樹



と き：令和元年6月9日（日）
13:00～15:30

と ころ：京都市中丹文化会館
（綾部市）

テキスト：『凡庸の唄』生長の家総裁・谷口雅宣先生著、
『46億年のいのち』生長の家白鳩会総裁・
谷口純子先生著
誌友会のためのブックレットシリーズ5



生長の家白鳩会全国幹部研鑽会が開催されました

去る4月27日（土）第11回生長の家白鳩会全国幹部研鑽会が「新しい文明」のために、倫理的な生き方を展開する」をメインテーマとし、「人も自然も生かす生活を楽しもう！」のサブテーマを掲げ開催され、大盛會裡に終了致しました。

京都第二教区はサブ会場の宇治別格本山に58名で参加させて頂きました。ありがとうございました。

感想文より

パネルディスカッション、事例発表、おひとり、おひとりご自分が出来る事、得意とすることを生活に生かされ、苦行ではなく、楽行として、活動されていると思わせて頂きました。テーマとしてあります新しい文明のために倫理的な生活をされていることに感動致しました。

私は、食料品店を営んでいますので、身近なこと、お客様の関心のあることを、資料にいただいた（保存版）キッチンから始める脱プラスチックLife、普及誌他を参考にして、倫理的な生き方をお伝えしていきたいと思います。

丹波・西舞鶴・東舞鶴総連



福知山・綾部総連



網野峰山・久美浜大宮・与謝・橋立総連



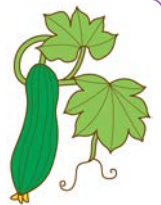
新規白鳩会員の紹介

ご入会おめでとうございます。

西舞鶴総連：八幡支部 西村加代子様

与謝総連：春日山支部 下田 聡子様

お茶碗洗い、身体洗いにヘチマを使いましょう！！その為にも、今年のグリーンカーテンはヘチマを植えて下さることをおすすめしています。多くの方のご協力をお願い致します。





令和元年6月度
生長の家白鳩会京都第二教区
総連別役員支部長会議
日程：6月4日（火）～8日（土）

ヴィーナス（熟年者）の集いのご案内
日 時：6月12日（水）
講 話：10:00～伊藤夏樹教化部長
歌の練習：13:00～三品純子先生
テキスト：『生長の家の信仰について』、『凡庸の唄』

〈6月度対策部日程表〉

日	曜	時間	対策部	日	曜	時間	対策部
2	日	13:30	普及誌購読者拡大	10	月	10:00	聖使命会員拡大
3	月	10:00	支部・誌友会・会員	15	土	10:00	I T
16	日	11:00	壮年	28	金	10:00	熟年

6月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

いつも普及誌をご愛読頂いておりますこと感謝致します。

毎日を心豊かに生活していますか？生長の家では、神様が創られた世界は良いものばかりで、人間は本来素晴らしい「神の子」として生かされています。しかし、目の前で起きる出来事に影響されがちです。それらに振り回されることなく、良きものしかない世界を見つめ、心を切り替えることが大切です。そのためには、良いコトバを意識的に使いたしましょう。忙しい毎日の中でも、フトそばにある普及誌を手にとって読んでみる時、充実した時間を過ごすことができます。6月9日（日）の「生長の家白鳩会女性のための講演会」にたくさんの方をお誘いしましょう。「毎日を明るくゆたかに！」をテーマに家庭も職場も、心豊かに良いコトバを使って心豊かな人生を築きましょう。普及誌を手渡しで愛行しましょう。

聖使命会員拡大

「聖使命菩薩」とは、私たち生長の家信徒のことであり、自分の悩みは解決されていなくとも、一切衆生、すなわち人間だけでなく困難に陥っているすべての生物のために何かしなければならぬと考える存在であることを示され、P B Sも聖使命菩薩の一つの現れであると述べられました。（機関誌4月号 神・自然・人間の調和と祈念祭での総裁先生のご教示より）このP B Sや愛行などの“挺身”“致心”と共に「何かしなければならぬ」と云う私達の切なる思いを“献資”の実践である、この素晴らしい聖使命会員のさらなる拡大につないでまいりたいと思います。「令和」がはじまり、心新たに、どうぞよろしくお願い申し上げます。 合掌

支部・誌友会・会員

4月も喜びあふれる誌友会を開催していただきありがとうございます。
誌友会は生長の家の教えを伝える身近な所です。普及誌を渡すなどして、一人でも多くの方に声かけをしていきましょう。

6月9日（日）に「生長の家白鳩会女性のための講演会」が開催されますので、多くの方に声かけをして、大盛況にしましょう。どうぞ、よろしくお願いたします。

I T対策部

3月28日、P B Sクラフト倶楽部によるミニイベントを開きました。運動方針にもあるように、これからは災害（自然）とともに生きていかなければなりません。何もなくなった時に、そこら辺にあるもので必要なものを作ることが出来るようにと考えて、箸を作りました。実際に山に入って材料を調達するところからしました。ステキな箸も出来て、良い体験になりました。災害の時には、この体験が役立つね！とみんな話しました。

壮年対策部

一昨年、昨年に引き続きまして7月13日（土）、14日（日）に特別壮年誌友会を開催致します。教化部長先生のご講話やBタイプのイベント、ティータイムなど盛りだくさんの内容です。壮年層の方やご家族、ご友人、ご近所の方をお誘いする最大のチャンスです。必ずお誘い下さって、京都第二教区を更に盛り上げて参りましょう。

またこの会は壮年層の方々の活躍の場でもあり、たずさわって下さった皆様のキラキラした姿には毎回感動を頂いています。是非今年もお誘いあわせの上ご協力頂いて、感動の時間を分かち合ひましょう。宜しくお願致します。

練成会

平成最後の練成会は桜が満開の中行われました。

二日目は教化部長のご愛念で富山教区教化部長、竹村正広本部講師において頂き、講話（質疑応答の時間も企画）を拝聴しました。練成会の参加者は新人3名を含む100名でした。参加者の皆さんからは「先生の実体験のお話は心に伝わってくるものが強くとても感動した」、「質疑応答の時間も有意義だった」、「予定を変更して参加して良かった」、「参加をすすめて頂き感謝している」などの感想がありました。又、二日目の昼食で150gのごはんとお味噌汁で、意義もしっかりと伝えて、一汁一飯の体験をたくさんの方々にして頂くことができ、良い機会となりました。4月の練成会は教区の皆さんがひとつになって、記念すべき素晴らしい練成会になったと思います。ありがとうございます。

谷口雅春大聖師 34 年祭のご案内

日時：令和元年 6月 17日（月）
午前 10時～

場所：生長の家両丹道場

持物：聖經『甘露の法雨』

谷口雅春大聖師のご遺徳を偲び、誠を尽くして聖經『甘露の法雨』の読誦を行います。信徒の皆様、是非ご参加ください。

六月晦大祓式のご案内

6月30日（日）午前10時より、生長の家両丹道場で、「六月晦大祓（みなつきつごもりおおはらい）式」を執り行います。私たちの罪・穢れを、「人型」を通して、宇宙浄化の神である住吉大神様によって浄めて頂きます。

2枚1組（奉納金300円）を取りまとめて頂いて6月19日（水）迄に道場へお渡し下さい。



第 13 回教区クリーンデイのご案内

日時：6月1日（土）8：30集合
8：45～11：00清掃活動
11：00～後片付け・昼食・解散
☆当日は昼食を用意しております。

場所：神崎浜海岸（駐車場あり）

交通費：距離を確認してお支払いたします。
なるべく乗り合わせの上、ご参加下さい。

持物：軍手、火ばさみ

教区献労のご案内

信徒の皆様には、ご多用の中、いつも道場の美化にご協力いただいておりますこと心より感謝申し上げます。

◎6月の献労は5日（水）
10:00～となっております。皆様のご協力をお願い申し上げます。



▼1400円
▼四六判・総ルビ・オールカラー
▼宗教法人「生長の家」刊

46億年のいのち

地球のいのちを感じて暮らす、森からのエッセイ。私たち人間は、全てのいのちと共にどう生きるべきか。森で暮らす著者が、自然と調和した日々の生活の喜びを語る。

谷口純子先生著 生長の家 白鳩会総裁

待望の新刊書！

☆献納品ありがとうございます。

- ・大槻 紀子・・・きよみオレンジ
- ・大江 青美・・・鯉節、昆布、ニンジン
- ・糸井美佐子・・・ドーナッツ
- ・加藤美奈子・・・金時、豆煮、タマネギの酢の物
- ・今西田鶴子・・・キュウリ奈良漬、高菜漬け、フキ
- ・新井 弥生・・・ハクサイの漬物、ニンジン、キュウリ
- ・新宮美智代・・・ハウレンソウ

☆献納ありがとうございます。

- ・吉田みき子・・・10,000円
- ・匿名・・・50,000円

敬称略

☆生物多様性保全募金ありがとうございます。
2,720円

☆お賽銭ありがとうございます。
44,880円

第二三四回両丹短期練成会開催

去る五月十日（金）～十二日（日）、教化部長・伊藤夏樹本部講師のご指導のもと、第二三四回両丹短期練成会が開催され、六十三名が参集し、「人間・神の子」の真理を学びました。

初日は講話（一）～（四）と浄心行等、二日目は講話（五）～（八）、先祖供養祭、神観実修等、三日目は、講話（九）、（十）と祈り合いの神想観、笑い大会等が行われました。

この度の練成会二日目には、岡山由紀講師が体験談を発表。約八年前、くも膜下出血と脳梗塞を併発し、生死をさまよったが、後遺症が残らずに奇蹟的に回復したことは、誠に生長の家の御教えと家族の支えのおかげと感謝する日々を送りつつ、その一方で、夫の健康がすぐれない状態が九年間続いていたことに負担を感じ、またお墓参りをしない夫の実家の信仰態度に、不満の想いが生じたこともあったといひます。しかし、岡山さんは、「環境は、心の影」、周囲を批判するのではなく、自分が変わろうと決意すると、主人の体調も夫婦仲もすぐに好転し始めたと言及しました。

参加者からは、「体験談をきかせてもらって改めて信仰の素晴らしさを感じた」「久しぶりに参加し、参籠させていたが、不思議と安心感に包まれ、熟睡することができた」と喜びの声寄せられました。参加頂いた皆様、運営にご協力いただいた運営委員の皆様、心より感謝申し上げます。



岡山 由紀講師



伊藤夏樹教化部長

令和元年6月度 行事予定

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜
(講) 受験勉強会 (10時)	五者会議 (13時)	〔道場休館日〕	ヴィーナス (熟年者) の集い (10時)			(白) 女性のための講演会 (13時)			〔道場休館日〕	(教区) 献労の日 (10時) (講) 講師派遣委員会 (10時)	(白) 総連別役員・支部長会議四日〜八日		両丹生命学園 (10時)	聖使命感感謝奉納祭 教区クリーンデイ (8時30分)	本部・教化部行事
															教化部長
近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	早期行事担当

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	日
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	曜
六月晦大祓式 (10時)	(白) 総連会長・対策部長担当会議 (10時)		〔道場休館日〕	(講) 地方講師・光実一日研修会 (10時) 役員会 (15時30分)	(白) 正副会長会議 (10時)	普及誌仕分日	相愛会教区大会 (13時)			〔道場休館日〕		住吉神社59年祭 (10時)	谷口雅春大聖師三十四年祭 (10時)	(相) 正副・地区連会長会議 (13時) 先祖供養祭 (10時)	本部・教化部行事
		野田川				宮津 大宮									教化部長
富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	早期行事担当

☆両丹道場では(木曜日と祝日の休館日)以外は毎朝5時10分より早期行事を執り行っていますのでどなたでも自由に参加下さい。